

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和5年5月31日

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

磨き合い

校長 高山 俊介



梅雨入り前に、紫陽花が蕾を少しずつ膨らませ、緑も一層濃くなるとともに、初夏の日差しがまぶしい季節となりました。コロナ禍前の日常に戻りつつある新年度も早いもので、あっという間に2か月が過ぎようとしています。年度当初は、進級・進学により様々な場面で生徒のまぶしく成長した姿を感じることができます。パナソニックを一代で築き上げ「経営の神様」といわれた松下 幸之助（まつした こうのすけ）氏

は、「人間は磨けば光るダイヤモンドの原石のようなもの」という名言を残し、「ただの石をいくら磨いてもダイヤモンドにはならない。しかし、ダイヤモンドの原石は磨くことによって光を放つ。しかもそれは、磨き方いかん、カットの仕方いかんでさまざまに異なる燦然とした輝きを放つのである。私は、人間というものはそれぞれに磨けば光る、さまざまな素晴らしい素質をもったダイヤモンドの原石のごときものだと思う。」と続け、人材育成の重要性を説いています。

さて、中学校では、年度当初に新入生へ2・3年生が内谷中の日課やきまり、行事、生徒会組織などをプレゼンテーションなどで紹介する生徒会オリエンテーションがあります。体育館に集まった新入生の前で、準備したパワーポイントのスライドや部活動での技術を高める練習内容などを時間内にてきぱきと、しかも、生徒目線で説明していきます。小学校で6年生として後輩たちの面倒を見てきた新入生も、先輩たちをまぶしく感じます。また、毎年、3年生が新入生に集団行動や内谷エクササイズ（本校独自のストレッチ）をデモンストレーションし、百聞は一見にしかずとばかりに新入生が、真似る（学ぶ）授業を展開しています。さらに、2年生は、中学生として初めての定期テストなる中間テストを控えた新入生に「定期テストなんてこわくない」というテーマで講師となります。これは、自分たちも講師である2年生（現3年生）から手ほどきを受け、1年生の時に（昨年度）自分なりにカスタマイズして1年間定期テストで経験してきたことを、今度は2年生として新入生にプレゼンテーションするのです。

内谷中の学校規模でこの意図的な生徒主体の異年齢での磨き合いの授業を行うのは、先生方の指導の賜物であると同時に、教員の資質・能力が磨かれる良き伝統であります。あわせて、ダイヤモンドの非常に熱伝導率の高い鉱石としての特徴のように、教員や先輩からの熱や仲間同士の熱が効率よく伝わり、学校全体が活性化していくとともに、その熱が伝統として脈々と受け継がれていくことも期待しております。